
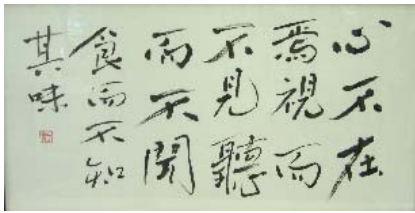


研究者総覧：村主 幸一 (MURANUSHI, Koichi)

氏名	村主 幸一 (MURANUSHI, Koichi)	
職名	教授	
所属講座	国際多元文化専攻ヨーロッパ言語文化講座	
学位 (専攻分野)	修士 (文学)・大阪大学	
メールアドレス	k46493a@nucc.cc.nagoya-u.ac.jp	
個人のホームページ	http://www.lang.nagoya-u.ac.jp/~muranush/	
研究分野	シェイクスピア	
	西洋演劇	
	パフォーマンス	
現在の研究テーマ	西洋の演劇理論	
所属学会	日本シェイクスピア協会	
主要著書・論文	「衣服・皮膚・身体内部——シェイクスピア初期悲劇の場合」『世紀末のシェイクスピア』共著 (三省堂、2000年)、75-88.	
	“Coriolanus and the Body of Satan”, <i>Hot Questrists after the English Renaissance: Essays on Shakespeare and His Contemporaries</i> (New York: AMS, 2000), pp. 115-30.	
	『エリザベス朝の復讐悲劇』、石田久、村主幸一、村井和彦、佐野隆弥、山津さゆり (英宝社、1997年)、83-114頁.	
	「料理と妊娠—— <i>Titus Andronicus</i> の復讐」、『英文学研究』、71.1、1994年、19-32.	
	「文字に巻かれた剣——『タイタス・アンドロニカス』における多義性と一義性」、『英語青年』、第139巻、1993年、第1号、2-6頁.	
自己紹介文	<p><私と研究></p> <p>組織的な要請から私は、研究科間の異動、及び講座間の異動を他の同僚よりも多く経験したかもしれません。講座が変われば、その講座に入学してくる学生諸君の学習上の希望に応えられるよう、教員自身がある程度の変化を迫られます。学生諸君は今という時代の子供もです。その彼らが私の読書の幅を押し広げました。多様な研究テーマをもつ学</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>某 IT 関連会社の社長に頼まれ書いたもの。彼の台湾オフィスにある。出典は「礼記—大学」。半切 1/2。</p> </div> </div>	

	<p>生諸君に伴走するため、私の読書範囲は爆発的に拡大しました。その場合でも、私自身が大いに助けられたのは、本来の専門であるシェイクスピア研究そのものがもつ大きさと深さです。この私自身の「根幹」は他からは見えないかもしれませんが、身体論、ジェンダー批評、視覚文化研究、メディア文化研究の授業へとつながってゆきました。私自身のなかでは、シェイクスピア研究とそれらの新しい担当領域との間に交流があります。研究の基礎が十分ではない学生諸君のために数点の手引書を作成したりもしました。現在は、ヨーロッパ言語文化論講座で、シェイクスピアだけでなく西洋演劇の様々な作品に対応できる研究視点を模索中です。</p> <p><私と趣味></p> <p>書。月に一度は筆をもちます。ついでながら、この「書く」という行為から、研究上のヒントを得たこともあります。</p>
<p>受験生へのメッセージ</p>	<p><研究計画書作りのポイント——私見></p> <p>(1) 前期課程2年間で修士論文を、後期課程3年間で博士論文を完成させることができる研究テーマでしょうか。</p> <p>(2) 研究テーマは、自己破滅型ではありませんか。次の本を参照。山内史朗『ぎりぎり合格への論文マニュアル』平凡社新書103(平凡社、2001)35頁。</p> <p>(3) 同時代的な現象はきわめて扱いにくく、エキスパートでないと無理だ、という論文執筆本の著者もいます。この意味をよくよく考えてください。</p> <p>(4) あなたの研究テーマに必要な「一次資料」「二次資料」は簡単に入手可能ですか。名古屋大学の図書館に所蔵されていますか。先行研究はありますか。その数はどれほどですか。翻訳だけに頼っていませんか。</p> <p>(5) 論文の書き方の基礎を心得ていますか。段落(パラグラフ)概念を理解していますか。</p> <p>(6) あなたの研究テーマは、どの学問分野がもっともふさわしい</p> <div data-bbox="1023 981 1283 1568" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="995 1585 1310 1682">同じ会社の横浜オフィスのために書いたもの(部分)。全紙</p>

ですか。どの分野であなたは研究者として自己訓練するつもりですか。ヘレン・ベンドラーやエドワード・サイドは、学問分野のアイデンティティがもつ重要性を主張しています。

(7) 研究においては、研究者が立てる「問い」(リサーチ・クエスチョン)から「論」が展開されます。十分理解されていないのは、先行研究に対する批判から「問い」は生み出されるという点です。